

## 定期接種されていない4ワクチンの定期接種化を求める意見書

日本の予防接種制度は先進国に比しておくれているが、2013年4月からはヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、ヒトパピローマウイルスワクチンの3種類が定期接種化された。

しかし、子供のワクチンの中で、B型肝炎、水痘（水ぼうそう）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）及びロタウイルスのワクチンは現在も接種費用がかかる任意接種として残っている。これらの4ワクチンは、法律改正の際に、全会一致で定期接種化することについて検討し、早期に結論を得るようとの附帯決議がついている。しかし、その結論は得られていない。子供は日本の未来である。いくらよいワクチンがあっても、接種費用がかかると接種率は上がらない。

よって、国におかれては、次の4ワクチンの定期接種化を実現するよう強く要望する。

- 1 B型肝炎ワクチン
- 2 水痘（水ぼうそうワクチン）
- 3 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）ワクチン
- 4 ロタウイルス感染症ワクチン

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

高知県議会議長 森田 英二

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
厚生労働大臣

} 提出